

BCAO仙台地域勉強会（2020年9月4日）議事録
（「企業・組織のBCP／防災勉強会@仙台」と合同開催）

1. 日時：2020年9月4日（金）17時より18時30分まで
2. 場所：ZOOM
3. 参加者：計17名
*事務局：丸谷（座長）、丸谷研究室 伊藤

議題①：「内閣官房「新型インフルエンザ等ガイドライン」の振り返り」

発表者：東北大学 災害科学国際研究所 丸谷

内容：内閣官房「新型インフルエンザ等ガイドライン」に記載されている感染症対策のBCPについての記述を説明。

*各社の対策状況について説明し、質疑応答を行った。社内秘事項もあると思われるために議事録では省略する。

Q:新型コロナウイルスでの労災認定や安全配慮義務に関して、どのような事例があるのか。

C:(詳しいメンバーから)企業の安全配慮義務としては、社内にクラスタを発生させないこと、重症化のリスクのある人を在宅勤務にしたり、感染のリスクが高い業務から外したりすることなどの配慮が求められる。感染し死亡した際に遺族から企業の責任を問われないよう対策をしておく必要はあると思う。安全委員会で話し合っておくことが必要である。労働基準監督署から事業者に対して感染症対策において取るべき対応を示した文書が発行されているので、そこに示された対策はとるべきであると思う。

Q:感染者が発生した場合の職場の消毒作業について、アルコール又は次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒すると書かれていた。自分たちで消毒作業を実施する際、どのような点に注意すればいいのか。

A:(詳しいメンバーから)消毒作業による二次感染のリスクは低いと考えられる。マスクや手袋などの保護具を着用して共用部や感染者の机の近辺2m周辺を消毒すればよい。今は保健所が職場の閉鎖を指示することもないようだ。

議題②：「新型コロナウイルスのBCPに関する調査ニーズについて」

発表者：東北大学 災害科学国際研究所 丸谷

内容：添付資料としてお送りした「新型コロナウイルス感染症に対応する企業・組織の事業継続計画(BCP)の改善に関する研究」は、今後研究する計画案であり勉強会に

参加されている皆様にもヒアリングなどご協力をお願いしたい。アンケートで他の企業に聞いてもらいたい要望があれば、教えていただきたい。

議事③：「その他」

Q：一昨年の平成 30 年台風 19 号で、関西国際空港に大きな被害があったが、被災以降空港のBCPや安全対策はどのように変化したのか？

A：関西国際空港は、高潮対策は行っていたが、高潮と高波の複合には耐えられず、地下電源が水没した。その後、成田空港で令和元年台風 15 号の際に空港にアクセスする鉄道が再開する見通しという未確認情報を基に空港の発着を再開したが、大量の帰宅困難者が発生させた。これらのことから国土交通省ではBCPの改善の方向を全国の空港に示している。